富士見を愛した文人・政治家ゆかりの別荘地や街道を結ぶ　歴史ウォーキング

分水の森（渡辺別荘）

富士見最古の別荘。明治40年（1907年）、宮内大臣の**渡辺千秋**が蔦木宿の本陣を移築して分水荘とする。**尾崎喜八**が戦後の７年間を過ごした。

帰去来荘（小川別荘）

明治４３年（1910年）、文部大臣・司法大臣・鉄道大臣を歴任した、富士見出身の**小川平吉**が建てた別荘。
田山花袋、**竹久夢二**など多くの文人や政治家が滞在した。
元首相の**宮澤喜一**は平吉の孫にあたり、夏をここで過ごしている。富士見の別荘地の先駆けである。

「アララギ」の歌人**伊藤左千夫**は帰去来荘で**富士見公園**の構想を練った。

大正11年（1922年）、小川平吉の勧めで**犬養毅**が**帰去来荘**を訪れ、隣接する朝鮮別荘に一泊する。犬養毅は富士見の純朴な風物が大いに気に入り、この地に別荘を建てることを決断する。

富士見公園

原の茶屋に**「アララギ」**の歌人が集う。
明治44年（1911年）大自然を永遠にと「アララギ」を記念して自然公園が完成する。**斎藤茂吉**、伊藤左千夫、島木赤彦らの歌碑が建つ。

白林荘

大正13年（1924年）白林荘の母屋が完成。以後、**犬養毅**を慕う多くの人々が訪れ、富士見ヶ丘に幾つもの別荘が建てられていく。犬養毅は地元の住民たちと広く親しく交流した。
昭和7年（1932年）**５.１５事件**で凶弾に倒れるまで、犬養毅は多くの日々をここで過ごした。
その後、荒廃した白林荘は**山縣勝美**により修復保存され、現在に至る。

注意：別荘は私有地です。立ち入らないでください。

- 分水の森コース　（2Km 30分）
- 白林荘コース　（1.1Km 20分）
- 帰去来荘コース　（1.3Km 20分）
- 富士見公園、原の茶屋、甲州街道コース　（1.6Km 25分）

注目　眺望　樹木　花　紅葉